



愛媛銀行

愛媛銀行の現況

平成24年9月/ディスクロージャー誌



ごあいさつ



皆様には、平素より私ども愛媛銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。ごぞいます。

当行はこの度、平成24年度中間期(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)における業況、活動状況につきまして、ディスクロージャー誌「愛媛銀行の現況」を発刊いたしました。本誌を通じて当行の現況をより一層ご理解いただければ幸いに存じます。

当行は、大正4年の創業以来、相互扶助の精神に基づき、お客様に幅広い金融サービスを提供しながら、力強く発展してまいりました。これもひとえに皆様方の温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

今後とも皆様方のより一層のご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年1月

頭取 **本田元広**

プロフィール(平成24年9月30日現在)

名称	株式会社 愛媛銀行
所在地	愛媛県松山市勝山町2丁目1番地
創業	大正4年
資本金	190億78百万円
預金等	2兆441億円
貸出金	1兆3,598億円
店舗数	102店舗(本支店94、出張所8)
行員数	1,474名

もくじ

ごあいさつ/プロフィール.....	1
頭取メッセージ.....	2
営業の概況	
【平成24年度 中間決算の概況(単体)】	
●金融経済環境/収益の状況/ 貸出金・預金等・預り資産の残高.....	3
●自己資本比率/金融再生法に基づく開示債権の残高と比率/ 格付/金融再生法開示債権の保全状況.....	4

創業100周年に向けて “殻を破る”新たな挑戦

平成24年4月、第14次中期経営計画がスタートいたしました。来る平成27年の創業100周年に向けて、「殻を破る」新たな挑戦が始まっております。厳しい経済環境ではございますが、皆様のご協力とご支援を賜りながら中期計画を実行に移しているところでございます。

ふり返りますと、初めて中期経営計画を策定したのは、約50年前の昭和38年のことでありました。この時点での預金残高は約350億円でしたが、平成24年3月には総預金2兆円を達成いたしました。現在、預金も貸出金も順調に伸びているところでございます。これも、ひとえに皆様方の長年にわたるご愛顧の賜物でございます。深甚より感謝申し上げます。

さて、当行では100周年を間近にして、全行員の「絆」をいま一度確かなものにするため、松山市や当行とご縁のある芥川賞作家で作詞・作曲家の新井満氏に社歌の制作をお願いし、初めての社歌「限りなき挑戦」が完成いたしました。歌詞のなかには、当行のDNAである「無尽の精神」や経営理念を言い表した「愛」、「ふるさとのために、ふるさととともに」、「夢」、「誇り」などのキーワードが盛り込まれています。

これらのキーワードを胸に刻みながら、私たちは日々ふるさと銀行として、地域金融機関の役割をさらに果たしてゆく所存でございます。

皆様方には、今後とも一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



頭取 本田元広



平成24年10月1日 愛媛銀行社歌完成発表会



新井 満氏

愛媛銀行
100th
記念盤

限りなき挑戦

作詞・作曲・歌唱 新井 満

あの地平線の彼方へ 道なき道を行く
嵐の朝もくじけぬ 私には仲間がいるから

夢を信じて 希望を胸に
走りつづける どこまでも

I have a dream ふるさとのために
We have a dream ふるさとと共に
ひめぎん ひめぎん ひめぎん ひめぎん
われらが誇り 愛媛銀行

あの水平線の彼方へ 荒波こえてゆく
嵐の夜もあきらめない 私には家族がいるから

明日を信じて 勇気を胸に
翼ひろげて どこまでも

I have a dream ふるさとのために
We have a dream ふるさとと共に
ひめぎん ひめぎん ひめぎん ひめぎん
われらが誇り 愛媛銀行

ひめぎん ひめぎん ひめぎん ひめぎん
われらが誇り 愛媛銀行
われらが誇り 愛媛銀行

金融経済環境

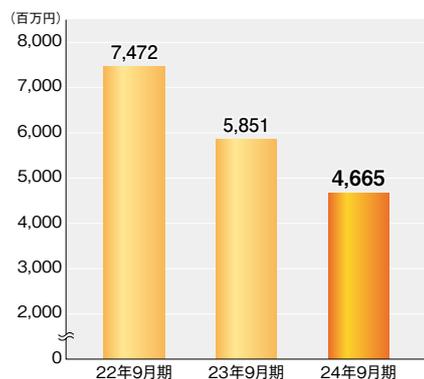
当中間期におけるわが国経済は、前半は内需が堅調で設備投資や生産など改善の兆しが見られたものの、後半は欧州債務危機の影響や中国向け輸出の減速により、景気の回復に陰りが見られる状況となりました。

愛媛県内の経済情勢は、一部に持ち直しの動きが見られたものの、業種間や地域間でばらつきがあり、まだ厳しい環境が続くものと予想されます。

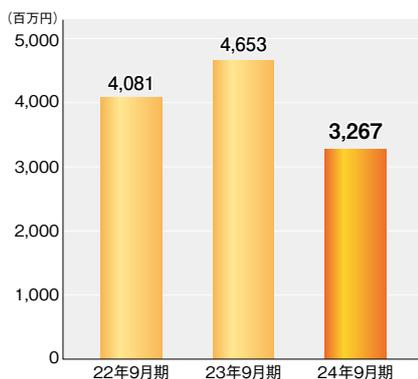
収益の状況

企業を取り巻く経営環境の低迷は続いていますが、効率的な資金運用に努めました結果、以下の業績となりました。

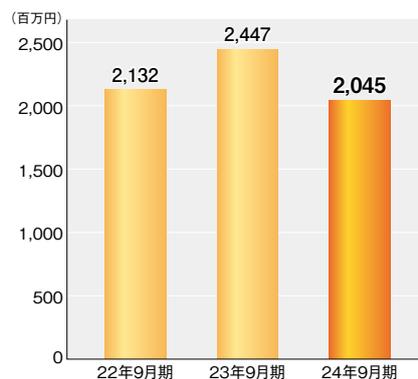
■ 業務純益



■ 経常利益



■ 中間純利益



用語の説明

● 業務純益

銀行本来業務による利益を表したものです。

● 経常利益

「業務純益」に株式売却損益や不良債権処理にかかわる費用等を加減算した利益のことです。

● 中間純利益

「経常利益」から税金などを差し引いた最終利益のことです。

貸出金・預金等・預り資産の残高

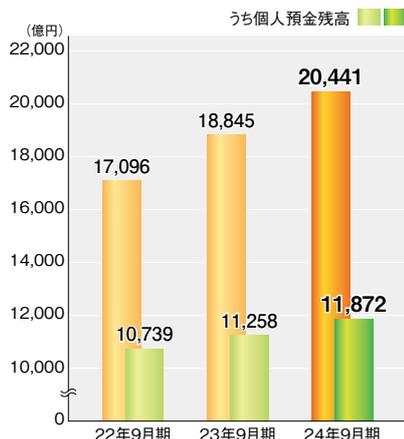
■ 貸出金の残高

貸出金は、中小企業の資金需要が依然として低迷する中、個人ローンを中心に推進した結果、前年同期比+358億円(+2.7%)となりました。



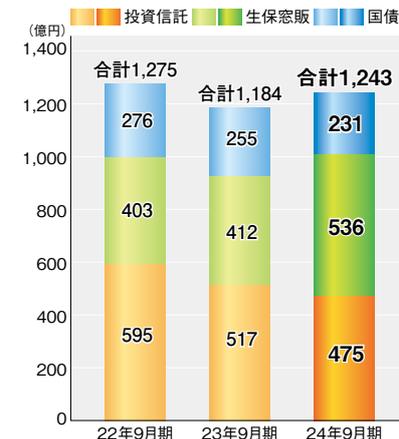
■ 預金等の残高

預金等は積極的な営業活動により、法人預金、個人預金ともに順調に推移し、前年同期比+1,595億円(+8.4%)となりました。



■ 預り資産の残高

お客様の運用ニーズにお応えするため商品内容の充実にも努めました結果、前年同期比+58億円(+4.9%)となりました。



※生保窓販は販売累計額ベースです。



自己資本比率

■自己資本比率

平成24年9月末の自己資本比率は10.11%(前年同期比+0.47%)となり、国内のみに支店を持つ銀行の水準である国内基準(4%以上)を大きく上回り、高い健全性を維持しています。

用語の説明

●自己資本比率

信用リスクの程度に応じてウエイトづけした資産(リスクアセット)に対する自己資本の割合です。この比率が高いほど不良債権等に対する備えが充実していることを示しています。

●Tier1比率

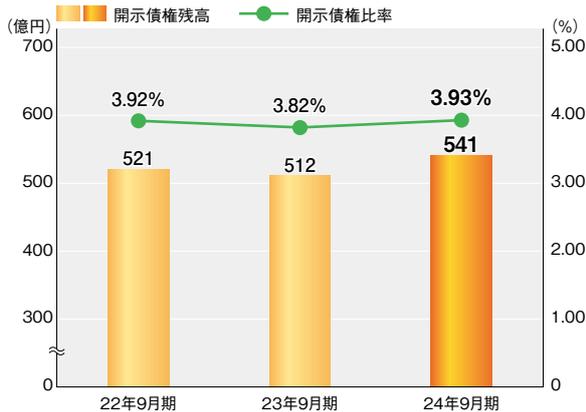
劣後ローンなどの補完的項目を算入せずに、資本金、資本剰余金、利益剰余金等の基本的項目で算出した自己資本比率で銀行の本質的な健全性を示す指標です。



金融再生法に基づく開示債権の残高と比率

■金融再生法に基づく開示債権の残高と比率(単体)

平成24年9月末の金融再生法に基づく開示債権残高は29億円増加し、開示債権比率は3.93%(前年同期比+0.11%)となりました。



(注) 債権額は億円未満を四捨五入しています。

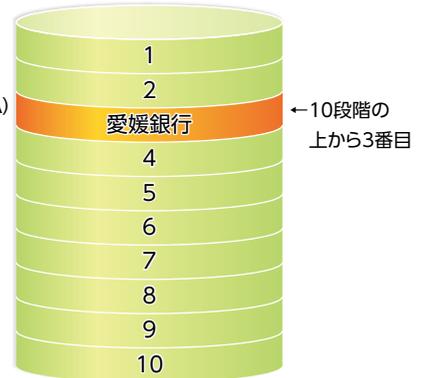
格付

■格付

当行は、日本格付研究所(JCR)から長期優先債務について「A-」の格付を取得しています。

「A」の定義は、「債務履行の確実性が高い」です。

- 1.AAA
- 2.AA
- 3.A(シングルA)
- 4.BBB
- 5.BB
- 6.B
- 7.CCC
- 8.CC
- 9.C
- 10.D

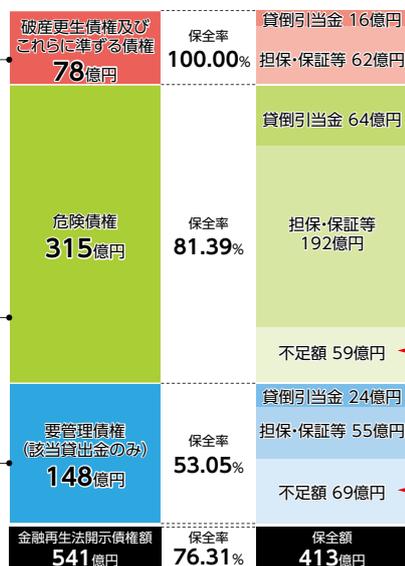


金融再生法開示債権の保全状況

健全性確保の観点から、積極的に引当処理を実施しています。また、引当されていない部分については、自己資本により十分カバーされています。



(注) 債権額等は億円未満を四捨五入しています。
(注) 要管理債権の引当は、要管理先に対する一般貸倒引当金。



用語の説明

●破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産などの事由により経営破綻に陥っている先に対する債権やこれに準ずる債権。

●危険債権

経営破綻状態には至っていないものの、経営状態が悪化し、約定どおりの返済ができない可能性の高い債権。

●要管理債権

3ヶ月以上延滞債権と貸出条件緩和債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」に該当しないもの。

●正常債権

経営状態に特に問題がないものとして、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」に該当しないもの。